

6月号

# きらめき



*kirameki*  
Yamaguchi

2021 June  
Vol. 150

山口県看護協会報



## 長門市役所

(健康増進課・高齢福祉課・地域福祉課)

所在地:〒759-4192 山口県長門市東深川1339-2

生涯「健幸」で元気に暮らせるまちづくりを進めていくことを目標に、健康寿命の延伸、医療、福祉など社会保障の負担軽減、施策の推進・強化に取り組んでいます。地域の課題についても取り組んでいくために部署を超えて地域を「丸ごと」考えていけるよう努めています。



# 令和3年度山口県看護協会通常総会の開催にあたって

会員の皆様には、平素より協会活動に暖かいご支援・ご協力をいただいておりますことに対し心から感謝申し上げます。

少子高齢化の進展による、超高齢化社会の到来に対応すべく、政府が進める医療と社会保障の一体的な改革は、団塊の世代が後期高齢者に到達する目標年度の2025年が目前に迫っています。

このため、本協会では地域を支えるよりよい看護職を目指して「医療の視点」「生活者の視点」の尊重、及び「家族を支える視点」を持った「地域包括ケアにおける看護機能の強化」等に鋭意、取り組んでいるところです。



会長 西生 敏代

通常総会を迎えるにあたり、令和3年度の重点方針につきましても、これまでの成果を踏まえ、前年度の枠組みを踏襲することとしながら、協会員の皆様とともに、行政、関連団体・機関間の連携も深め、住民の皆様にも最も身近な専門職として、社会変革に対応し地域の皆様が安心して、その人らしい生活を営む社会の一助となれるよう取り組んでまいりたいと思っています。

また、新型コロナウイルス感染症に対し、本協会では逼迫する医療現場への潜在看護師の掘り起こし、派遣調整、また、宿泊療養施設の運営支援、会員施設のクラスター対応への支援等を行ったところ。今後も、看護現場の現状を把握しながら、必要な研修や経験・ノウハウを共有するための会議等を積極的に開催したいと思っています。

いま、社会はかつてないほど看護の力を求めています。どのような事態にも対応できるよう、看護職ひとりひとりの質・能力の向上、将来を見据えた看護教育の充実を続ける必要があると強く思っており、皆様のお力を借りながらあるべき体制の強化を図ってまいります。

今後とも、本協会が看護職能団体として「生きるを、ともに、つくる」(日本看護協会タグライン)の役割を果たしていくため、適宜、適切な対策を講じてまいりますので、会員の皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 受章(賞)者の紹介

### 第49回 都道府県医療功労賞

萩市須佐総合事務所 市民窓口部門総括補佐 渡辺 佳野代 氏

### 令和3年 春の叙勲

瑞宝単光章 社会福祉法人鼓ヶ浦整肢学園鼓ヶ浦こども医療福祉センター  
看護育成部長 田畑 真弓 氏

### 令和3年度 日本看護協会長表彰

医療法人光輝会 光輝病院 副看護部長 上河内 一枝 氏  
元山口県看護協会長 吉村 喜代子 氏

# 令和3年度重点方針

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、病床の機能分化・連携の促進、地域包括ケアシステム構築の推進、医療従事者の確保・勤務環境の改善等、2025年に向けていずれも大詰め段階へと差し掛かっている。また、高齢化の更なる伸展や単独世帯増加による孤立化、地域の共助機能の弱体化など2040年に向けた課題も明らかとなってきている。

山口県においては、令和元年の高齢化率が34.3%と、全国第3位の高齢化率となっており、全国に先行して進む高齢化への対策が進められている。一方、高齢者のみではなく子どもや子育て世代、障害者等も含めた全ての世代にとって、より安心して生活できるよう地域と医療が一体となった包括的かつ継続的なケア体制の構築も求められてきている。このような中、看護提供の場は広がっており、医療と生活双方を支える看護職には確かな看護スキルと「生活の質」の視点、地域マネジメントの力など求められる能力と役割が、今後も拡大していくことが予測される。

加えて、今般の新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる経験は、私たちの生活に大きな影響を与え、改めて看護の力への期待が高まっている。かねてより、看護は疾病の予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮し取り組んできたが、今後予測される新興感染症や地震・豪雨等による災害等危機管理への対応において更なる看護の力、看護の役割が強く求められている。

また、看護職能団体として、新型コロナウイルス感染症への対応において、危機時における事業の継続と本協会の役割遂行上の課題が明らかとなった。多様な場で働く看護職の状況を把握し、課題抽出と解決に向けた働きかけや情報発信を速やかに行っていくためにはICTの活用の推進など新たな取り組みが必要となっている。

これらを踏まえ、令和3年度は以下の4点を重点方針として事業を行う。

1 全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

2 看護職の就業と定着の促進

3 看護の質の向上とキャリア形成の促進

4 組織力の強化

# 令和3年度 公益社団法人山口県看護協会通常総会

## プログラム

日時 令和3年6月19日(土) 13:00～15:20  
場所 山口県健康づくりセンター 多目的ホール

12:00	開 場	議決事項
12:50	オリエンテーション	第1号議案 令和2年度決算報告(案)及び 監査報告
13:00	開会式 物故会員への黙とう 会長挨拶 山口県健康福祉功労者知事表彰 山口県看護協会長表彰 叙勲受章者、医療功労賞受賞者他紹介 Nursing Nowキャンペーン最優秀者表彰 来賓祝辞	第2号議案 令和3年度改選役員及び推薦 委員の選出 第3号議案 令和4年度日本看護協会通常 総会代議員及び予備代議員 の選出
14:00	議長団選出 議事録署名人の指名 報告事項 報告事項1 令和2年度事業報告	報告事項 報告事項2 令和3年度 事業計画 報告事項3 令和3年度 収支予算書 新役員紹介、旧役員謝辞
		15:20 閉会

※新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、令和3年度通常総会は規模を縮小して開催いたします。参加者は代議員のみとなります。日程及び内容につきましては、変更になる可能性がありますので、本協会ホームページをご参照下さい。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解の程、よろしくお願い致します。

## 令和3年度 改選役員及び推薦委員の選出について

### 役員候補者(改選11名)

	役 職	氏 名	所 属	職 種
再	第二副会長	有 田 稔 子	山口市役所防災危機管理課	保 健 師
新	専務理事	酒 井 恵 子	個人会員	保 健 師
新	常務理事(庶務)	藤 谷 圭 子	個人会員	助 産 師
新	常務理事(会計)	小 阪 マリ子	徳山中央病院	看 護 師
新	保健師職能理事	菊 池 実 代	下関児童相談所	保 健 師
新	全区理事	鈴 川 実 紀	安岡病院	准 看 護 師
新	地区理事	白 銀 優 子	岩国中央病院	看 護 師
新	地区理事	大 東 美 恵	国立病院機構柳井医療センター	看 護 師
新	地区理事	達 川 明 美	防府リハビリテーション病院	看 護 師
新	地区理事	石 井 恵 子	岡田病院	看 護 師
新	監事	高 橋 和 子	山口県立総合医療センター	看 護 師

### 推薦委員候補者(定数7)

	氏 名	所 属	職 種
新	林 直 美	山口健康福祉センター	保 健 師
新	常 盤 智 子	平生町健康保険課	保 健 師
再	北 村 み き	梅田病院	助 産 師
新	酒 井 玲 子	済生会豊浦病院	助 産 師
新	山 時 久美子	緑町三祐病院	看 護 師
新	村 橋 久美子	岩国市医療センター医師会病院	看 護 師
新	重 富 美喜江	山口県立総合医療センター	看 護 師

## 軽症者宿泊施設の開設に携わって

杉 文子

令和2年11月1日より新型コロナウイルス軽症者等宿泊療養施設が開設されました。看護師の役割は入所者およびスタッフの健康管理・感染管理はもちろんのこと、施設内の環境清掃等の業務を任う支援員の指導とサポートも行っています。

私たちは、事前に看護協会で感染対策やPPEのガウンテクニックの研修を受けましたが、従事するにあたり入所者の病状経過や急変対応、自身の感染リスクや感染拡大させる恐れに対する不安がありました。また、何も無い状況で一から作り上げなければならない中、交代制勤務の中で業務手順等を統一することが課題でした。当初、医療施設で3～4日程度経過して病状が落ち着いた方が入所対象者でしたが、クラスターが発生してからは医療施設に入院せず直接宿泊施設に入所される方が多くなり対応について検討することも増えてきました。医師会および県立総合医療センターの医師が対応について親切に相談に応じてくださいました。また直接入所の方は、全例CT検査を受けてからの入所でしたので私達の不安の軽減につながりました。



県職員と入所者の受け入れについてシミュレーション

感染防止対策と継続した業務の一貫性については、事前に県職員と協議し入退所のシミュレーションを行い、入退所方法・健康観察・ゴミ回収を含めた感染対策業務等について、写真を入れた手順書を作成することで統一した手順で対応ができました。業務内容(入退所の対応方法・カルテ作成・部屋の割り振り、備品の購入等)の変更などの情報共有を密に行い、支援員の食事手配・準備や備品準備・居室清掃やゴミ回収などの業務については、PPE着脱等のスキルを修得するまでの間の見守り支援をしました。



支援員に付き添いごみ回収について指導

クラスターが発生すると軽症者宿泊施設も急激に業務量が増え、即座に看護人員の確保が必要となります。また、医療従事者ではないスタッフが、ゾーニングを理解し、清掃業務やレッドゾーンの出入りやゴミ回収などのスキルを修得するにはかなりの時間を要しました。課題を明確化し、1つ1つ丁寧に解決していくことが軽症者宿泊施設における新型コロナウイルス感染症対策に最も求められていることだと感じました。今後も感染拡大防止に努めていきたいと思えます。

# NursingNow 受賞者発表

## 「今伝えたい看護の心・技・知恵」優秀作品

2020年のナース生誕200年、「看護の日・看護週間」制定30年を記念したNursing Nowキャンペーンを2021年6月まで展開しているところです。

本協会ではその事業の一環として、日々実践している看護を振り返ることで、看護の役割・魅力を再認識し看護職に誇りが持てるようにという目的で、看護職の方に「今伝えたい看護の心・技・知恵」というテーマでエッセーを募集いたしました。審査の結果、最優秀賞1人、優秀賞3人が選ばれました。



### 夕暮れのランデブー

周東総合病院 佐川 京子

病院の食堂で「余命が少ないと言われたから連れて帰りたい。」相談して来られたのは私が外来で担当していたAさんの夫。Aさんはほぼ寝たきりの状態。家族構成は夫と高校生の娘の3人暮らしである。自宅に帰るにあたり、夫からお願いされた事は「お金をかけずに連れて帰りたい」とのこと。その依頼に私は最大限の知恵を絞って対応した。自宅環境を整える上で介護ベッドも検討したが夫より「ベッドは良いものを準備した」とのことであった。退院時間は夕方17時過ぎに軽自動車ですぐ連れて帰りたいとの夫の希望に合わせて、心の中では人目を気にしているのかな?と思った。

退院の日、希望通りの時間に軽自動車の後部座席を倒し布団を敷いた上に小柄なAさんは横たわった。私は軽自動車を追走する形でAさんの退院に付き添った。自宅までの距離はおよそ30キロ。順調に移動し辺りは薄暗くなりはじめた時、突然軽自動車が道路から離れ空き地に停車した。何が起きたのかと車に駆け寄った。「大丈夫?」と声をかけた私に、Aさんの夫はいたずらした子供のような笑みを浮かべ、「ここ(地元)に帰って来たと思える場所をこいつに見せたかった。」「夕日も見せたかったからね」と。Aさんが住む島と本土にかかる橋に夕日が沈む絶景の場所と時間を考えての退院時間であったことをそこで知った。「ごめんね。邪魔したね。」と私は車に戻った。

無事に自宅に到着すると、家に入るや否や夫から2度目の笑み。「じゃーん。特製ベッド」と紹介されたものは12個のミカン箱用のコンテナの上にベニヤ板が敷かれた高さも安定感もあるベッド。Aさんは喜んで横たわった。数週間後Aさんは特製ベッドの上で家族に見守られて亡くなった。

10年以上が経過し、地域の保健活動の際に若いスタッフに声をかけられた。「Aの娘です。」あの時の高校生が同業者として目の前に現れた。Aさんの娘さんに夕暮れの出来事をお話できたことは看護師としての最高の喜びであった。



### 終末期にある患者家族との関わり

宇部記念病院 天羽 志穂

終末期にある患者の家族は、大切な人を失うことに対し大きな不安と様々な複雑な感情を抱いている。その感情を表出することは、家族自身が患者の死を受けとめ、昇華して一段上の段階へ歩みだす上で重要なことだと私は考える。

最近、経験させていただいた患者家族との関わりは印象深く残っている。ご主人の状態が悪化し、心臓マッサージや血圧を上げる薬の点滴などが施されていた時、すぐそばで見守られていたご家族が苦しそうな表情で病室から出ていかれるのが視界に入った。後を追いかけて様子を見に行くと、廊下の椅子に低くしゃがみこんでおられた。声を掛けながら背中をさすっていると、せきを切ったように「皆さんが命を救おうと頑張ってるのはわかるが、自分の気持ちが追いついていかない。一番苦しいのは主人なのに私が苦しくなって見ていられなくなった。情けないです。」と話しはじめた。どう答えればよいか悩んだが、ご主人は本当によくがんばられたこと、ご家族も体調がすぐれない中、頻りに来院されていたこと、ご家族が来院された時はご主人の表情がいつもとは違って穏やかだったこと、などをゆっくりと伝えた。すると少し微笑みながら「ありがとう。そう言ってもらえて。話を聞いてもらって、あなたにそばに居てもらえたから少し楽になった。どこにも吐き出せなくて苦しかったけど、少し前を向けそうです。ちゃんと主人のそばに居てあげようと思います」と言われた。その後、ご家族は静かにご主人を見送られた。

自分の関わりによって最期までそばにしようと思っただけだと考えるのは自己満足かもしれないが、ご家族の病室での姿がとても強く心に残っている。できれば、もっと早い段階で、ご家族の声にしっかりと耳を傾け、受容の手助けができなかったかと悔いが残る。ご家族から教えていただいた教訓を活かし、患者さまやその家族とよりよい関係を築けるようさらに努力したい。



## 人のもつ力を信じるということ

山口大学医学部附属病院 塩道 敦子

今年ほど、人のもつ力を信じるのがどれほど大切であるかを感じた年はない。

私は、総合周産期母子医療センターをもつ産婦人科病棟に勤務している。コロナ禍において、母親学級や助産外来、立ち合い出産はおろか家族の面会まで出来なくなった。家族を含めた看護が行えないという状況は、私たちにネガティブな感情をもたらした。母親が満足した出産体験を得られないのではないかと不安や、自分たちの専門性が発揮できないことへの達成感のなさである。ネガティブな感情には組織全体の行動を固定化し、新たな行動を抑える働きがあるという。私たちはウェルネスケアのプロじゃないか、人のもつ力を信じなくてどうするのか。昨年、ポジティブマネジメントの思考パターンを学んだ私たちは、制限のある中で、最善の方法は何かを考え、行動できるチームとなるよう奮闘を開始した。

まずは、個を大切にしたい保健指導を充実するため、リーフレットを一新した。集団指導が行えない分、母親の外来受診時や入院中の時間を最大限に利用するために、集団指導を行っているスタッフの教育に熱が入った。アロマや整体を取り入れ、母のもつ本来の力を促進する技術を磨いたり、母子の状況を頻回に家族に伝えたり、新たにモニター越しの家族面会を行う等を実践した。その中で、数日間分娩促進剤を使用し、経膈分娩された方から手紙を頂いた。「母親学級がなくて孤独に感じる中、外来で受けた指導が心強かった。お産の時、側にいてくれることの大切さ、一人ずつの心配り、チームワークのよさに感謝している。諦めずに自分の力で産めたことに感動している。」と。私たちの看護について綴られた文面からは、私たちがその時に最善の方法を考え、実践し、繋げていたことがわかった。ああ、この方向で間違ってたかったと涙が出た。

看護者は、人のもつ力を見極めることに長けている。また、苦しく限られた中でも、発見や工夫を繰り返すことができる者であると思う。私は、自分のもつ力を信じ、ともに歩める人でありたいと思っている。



## それぞれの看取り

医誠会 都志見病院 小西 恵

看取りの関わりは、患者や家族から多くのことを学ぶ機会である。私が療養病棟の師長をしているとき80歳代のAさんが危篤となり、家族に看取りをお願いした。Aさんは奥様に先立たれており一人息子のみが家族であった。東京からUターンして家業を継いでおられた息子さんは、多忙で面会も来られることがなかったため、私はこの時初めて息子さんと顔を合わせた。「残念ながら今日が最後になると思います。残された時間は数時間だと思います。今からお父さんに付き添っていただけますか?」と説明した。息子さんからの了承を得られたので、私は他の業務をこなしながらモニターで観察していた。心電図の異常波形や徐脈などで部屋に駆け付けると息子さんの姿はなく、慌てて息子さんに再度電話にて来室してほしいと依頼した。そのようなことが1時間に2回あり、「どうして息子さんはAさんのそばに居ることが無理なのだろう?看取りをしてもらいたいのに」と私は焦っていた。2回目の電話で来室された時は臨終には間に合わず看取りは幕を閉じた。

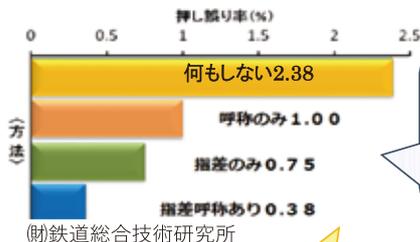
一週間後息子さんが訪ねてこられ、「あの時は親父のそばに居るように何度も言っていたのにすみませんでした。実は親父を一人で看取るのがとても怖くて怖くて。僕、逃げてたんです。」と言われた。あの時の謎が解けた。

私の中の「看取り」とは、臨終の際には家族はそばに居て患者の手を握ったり声をかけたりすることで患者が最後を迎えることを良しとして満足していた。患者や家族への「看取り」への配慮はそれが正しいと思っていたからだ。あの時息子さん一人を部屋に残し、傍についていただいただけで安易に安心した自分がいた。「看取り」には多様な看取りがあることをAさんや息子さんから教えていただいた。最後に息子さんは「親父とはもともと仲が悪くて家業を継ぐためにイヤイヤ帰ってきたので、帰ってきてから真面目に話をしていないんです。頑固な親父で嫌いでしたが、居なくなるとやはり寂しいです。」と付け加えられた目には涙がいっぱいあふれていた。



# 誤認防止には指差呼称が効果的です!!

インシデント報告の発生要因の多くが「確認不足」となっています。確認の精度を高めるには「指差呼称」が推奨されています。



指差呼称をすると、指を動かす動作・自分の声を耳で聞くことで、脳が覚醒され注意力が高まります。  
何もしない時と比べて、誤りの確率は6分の1になります。

指差呼称は  
脳を3倍以上使います!!



あおもり協立病院医療安全管理室 【医療安全ニュース】より

「確認する対象を指でさす(なぞる)」「指さしたものを声に出す」「言った言葉を耳で聞く」ことで確認の精度が6倍になります。

また、脳が覚醒されるだけでなく、焦りが防止でき、記憶促進効果もあり、惰性におちいらず、意識的に確認できますので指差呼称での実施確認、指示確認などを是非おねがいします。



## 周南支部の活動紹介

### 支部集会

令和2年度の支部集会は、新型コロナウイルス感染症のため規模を縮小し、感染対策を行いながら新・旧役員のみ参加の開催でした。いろいろ制限をされるコロナ禍であっても、支部会員様の皆様にとって役立つ活動を遂行していこうと、役員全員が決意を新たにいたしました。

まちの保健室や各委員会での研修は参加者・役員の健康・安全面を第一に考え中止・延期せざるを得ない状況でした。今後は活動再開に向け協議を行い、新型コロナウイルス感染症に負けず看護現場で頑張っている支部会員の皆様にとって役立つ活動ができればと思います。



### 在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業

今年度は、2年目を迎え在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業の検討会・研修会の開催予定でしたが、研修会はコロナ禍により延期になってしまいました。令和3年度は感染対策を取りながら在宅支援についてメンバーで取り組んでいきたいと思っています。

今年度も会員皆様の知恵と力をお借りしながら支部活動に取り組んでいきたいと思っています。



## 防府支部の活動紹介



### 看護研修会

令和2年10月24日(土)山口県立総合医療センターのへき地医療支援センター長である原田昌範先生による「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」をテーマに、初のオンライン研修を開催しました。オンラインでのグループワークでは、自分らしさや、その人らしく生活するためにはどうしたらよいかディスカッションし、また参加者自身の自分らしさとは何かも考える機会となりました。オンライン研修は初めての試みであり不安はありましたが、研修後のアンケートでは「有意義な時間の共有が出来て楽しかった」という意見を多数いただきました。その人らしさを大切に、寄り添う看護と他職種との連携の必要性も感じた研修でした。現在の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今後もこの様なオンラインでの研修会や会議を開催し看護の質向上を目指していけるような取り組みを考えようと思います。



### 防府支部役員会

7月に少人数での支部集会を行いました。その後、9月、11月、12月、2月と支部役員会を開催しました。今年度は、まちの保健室の開催が行えず、7月には新たに役員が変更となり経験者が減少する事態となります。現状での開催も危ぶまれた中で、今年度開催時には役員の担当者を決め開催にあたり工夫を凝らしています。また今年度の親睦会の開催については、コロナ禍であっても感染対策を図りながら有意義な会となるよう役員一同模索しています。



## 小野田支部の活動紹介



### 2020年度の活動報告

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、支部交流会の中止、「まちの保健室」も中止でのスタートでした。その中で支部活動として何ができるのか、どのような方法なら可能なのかを支部で協議してまいりました。その結果、教育研修会を当初予定していた実践スタイルの研修から、所属施設で受講できるオンライン研修へ変更し実施いたしました。

### 教育研修会

オンライン研修のすべての準備を支部単独で準備することは難しいと判断し、この度は(株)大塚製薬工場様との共催で研修を計画していきました。研修テーマは「経口摂取回復に向けた口腔ケアの意義~口腔ケアと誤嚥性肺炎~」とし、(株)大塚製薬工場 広島支店 学術担当 竹田隆久先生にご講義いただきました。開催日を2021年2月5日(金)、2月12日(金)の2日設け、各施設で受講可能な日を選択できる形式としました。平日の時間外、研修開始から終了を40分、自施設で参加できることもあって、両日で11施設92名(看護職88名 介護職4名)と多くの方に参加していただくことができました。

コロナ禍の2020年度は、支部目標の「支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る」に向けて活動するなかで、“するべきかどうか”を考え続けた1年でした。一日も早く新型コロナウイルス感染症が終息し、再び安心して暮らせる日常が戻るよう心から願い、今後も看護職として活動していきたいと思っております。



## ■ 学会委員会



### 令和2年度学会委員会活動報告

委員長 坂井 浩美

コロナ禍の社会情勢を鑑み、第20回山口県看護研究学会は紙上発表という形式をとりました。不測の事態の対応が求められる多忙な中、会員の皆さまからご応募いただき、15題の研究成果について紙上発表となりました。この15題のうちわけは、看護の実践が6題、地域との連携を含めた入退院の支援が3題、看護管理が4題、看護教育・人材育成が2題となっています。どの研究も皆さんの看護の実践の場面から問題提起された内容であり、このような問題提起を看護研究に結び付けることは大きな意義があります。次回の看護研究学会につきましても、より充実したものになりますように委員会一同、今後とも努めてまいります。

## ■ 労働環境支援委員会

### 令和2年度 労働環境支援委員会活動報告

委員長：小阪 委員：伊藤・宇都宮・吉岡・箕・秋本

#### ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会

【テーマ】ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を目指して

～看護職の健康と安全に配慮した労働安全衛生ガイドラインの活用～

【講師】公益社団法人日本看護協会労働政策部看護労働課 奥村元子氏(Zoom)

村上労務経営事務所代表 村上智宏氏

「看護の現状と課題」をはじめ、「ガイドラインの概要」、「ハラスメント防止」などを

学ぶことができました。また、「看護現場でよくある労務管理の疑問と対応」では、資料がQ&Aで示されていたので、わかりやすく、取り組みへのヒントとなりました。



#### 病院等へのアドバイザー派遣による相談会

看護職員の勤務環境や教育体制等に課題を抱える病院等にアドバイザーを派遣し、課題解決に向けた取り組みを支援するものです。1施設より応募があり訪問支援を行いました。

#### セカンドキャリア支援研修会

【講義】「年金制度とこれからの働き方」銀座社会保険労務士法人代表 吉国智彦氏

【事例報告】「セカンドキャリア世代の働き方を支援している施設」

安岡病院副院長兼看護部長 古本たつ子氏

「セカンドキャリアの働き方をしている看護職～看護師長の立場～」

安岡病院看護師長 松永忍氏

年金の具体的な話を聞くことで定年後をイメージすることができました。

また、事例報告では、年齢に合わせた多様な働き方やこれまでの職業経験を尊重した支援をされており、とても参考になりました。



令和3年度も「ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会」をはじめ、「アドバイザー派遣相談事業」、「セカンドキャリア支援事業」を計画していますので、皆様のご参加をお待ちしています。

## ■ 教育委員会

委員長 山角 洋子

教育委員会は、多様化する社会ニーズに柔軟に対応できる看護能力の向上、看護師の育成を目指すという目的のもとに一般教育研修を企画しました。特に平成元年度より「日本看護協会看護師クリニカルラダー」の4つの看護実践能力ごとに研修を区分し、また研修受講の目安となる「ラダーレベル」も表示することで、内容の充実を図ると共に、受講者が研修を選択しやすくなるよう心がけています。



昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの一般教育研修も中止・延期を余儀なくされ、一部はリモート研修といった形を変えての開催となり、受講者の皆様には多大なご迷惑・ご不便をおかけしたことと思います。今後も感染症に関しましてはどのように推移していくか予測が立ちませんが、感染対策を徹底した上で、皆様のご期待に沿えるよう、看護の質向上に反映できる研修会を企画・運営していきたいと考えております。



ピンチをチャンスに、こうした経験をふまえて新たな改革も検討していきます。皆様からのご意見もいただきながら、より内容の濃い研修を行ってまいりますので、令和3年度も一般教育研修会へのご参加をよろしくお願いいたします。



## ■ 推薦委員会



### 令和2年度推薦委員会活動報告

委員長 中塚 恵

推薦委員会は、県協会役員(外部監事を除く)・推薦委員・代議員及び予備代議員(県・日看)の改選に係る候補者の選挙管理委員会への推薦、候補者推薦書の受理と職能委員会委員・常任委員会委員の理事会選任に向けた候補者の推薦を行っています。

コロナウイルス感染症の対応に追われる中、委員が集まれる機会を確保することに苦労しましたが、委員間の連携を確保しながら活動を進めることができました。

1月から2月にかけては、会員施設の看護管理者等に職能委員会委員・常任委員会委員候補者の推薦をお願いしました。各職能分野において、繁忙を極めておられる中、看護管理者等の皆様が施設内関係部署や候補者本人との調整を迅速に行っていただき、早期に候補者を選定することができました。厳しい環境の中での短い調整期間ではありましたが、委員候補者の所属施設からは、「委員会に参加することで勉強させたい」といったお言葉もいただきました。皆様のご協力に厚くお礼申し上げます。

県看護協会の円滑な活動を支える人材を適切に選任できるよう、今後ともご支援とご協力をお願いいたします。



## 看護師職能委員会 I (病院領域) の活動

看護師職能 I 委員長 亀永 百合子

看護師職能委員会 I では、平成30年度よりJNAクリニカルラダー(以下JNAラダー)の活用、普及・推進に向けた活動を行ってきました。令和元年度には、JNAラダーの作成及び移行支援を県下5施設へ実施いたしました。令和2年度は5施設を対象に支援活動を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止となりました。

JNAラダーの普及・推進活動を継続するため、令和2年11月19日(木)にJNAオンデマンド活用研修「JNAラダーの推進にむけての人材育成研修」を実施いたしました。参加者は44名、研修後アンケートでは、研修での学びが現場で役立つと回答した人は95%でした。参加施設のラダー導入状況は、半数がラダーを導入しており、約半数が今後JNAラダーを導入したいと希望していました。今後もラダーの普及・推進活動を継続し、看護実践能力を高め、看護の質向上を目指していきたいと思っています。

また、JNAラダーの普及・推進に向けた今後の活動を検討するために、県内121施設を対象に現状調査を行いました。回答した施設の82%がラダーを導入しており、JNAラダーと自施設のラダーを融合させ、教育計画やキャリア形成に活用していました。要望として、ラダーの活用方法や評価の実際を知りたいという意見があり、ラダーを活用している施設の取り組み等を報告する場を今後検討していきたいと考えています。



## 看護師職能委員会 II (介護・福祉関係施設・在宅領域) の活動

看護師職能 II 委員長 東 由利子

地域包括ケアにおける看護の活躍分野の拡がりに対応するため、山口県看護協会看護師職能 II は今年度より独立した委員会として7名の委員で活動を始めています。

主な取り組みは、山口県委託事業である介護施設への認定看護師出前講座の開催です。令和元年度は県内5施設で実施しました。令和2年度はコロナ禍にもかかわらず、14施設(受講者総数324名)で研修を開催することができました。緊急事態宣言が解除となった6月に、県内の介護老人保健施設・介護老人福祉施設の計204施設に意向調査を行い、出前講座希望施設の中から公正に15施設を選考させていただきました。(開催予定だった1施設は感染拡大のため止む無く中止となりました) “感染管理” “摂食嚥下” “糖尿病” “看取り” “フィジカルアセスメント” “褥瘡” のテーマに沿った近隣地域の認定看護師をマッチングし、感染対策を十分に講じた上での実施としました。研修受講者からは「感染対策の知識やガウンテクニックの実践を学べてとても参考になった」「講師と顔の見える関係ができて心強い」等、高評の声が多く寄せられました。また、認定看護師の皆さんからは「この体験は自分自身の大きな学びとなった」「地域医療に貢献できる良い機会を与えていただいた」「今後の関係性の強化につながる」との感想がありました。令和3年度もより多くの施設職員の皆様に認定看護師出前講座を受講していただけるよう継続事業として取り組んでいく予定です。

令和2年度の看護師職能 II 交流会は感染拡大のため中止としました。令和3年度は開催できますことを願っています。



### 看護師職能集会 (看護師職能委員会 I・II 合同開催)

令和3年6月26日(土) 10時~12時

基調講演テーマ: 「PEP TALK 元気・活力・勇気を与えるトーク術 (仮)」

● 講師: 末永整骨院・光 代表取締役 末永成一先生 ●

基調講演はおススメです。委員一同お待ちしております。

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

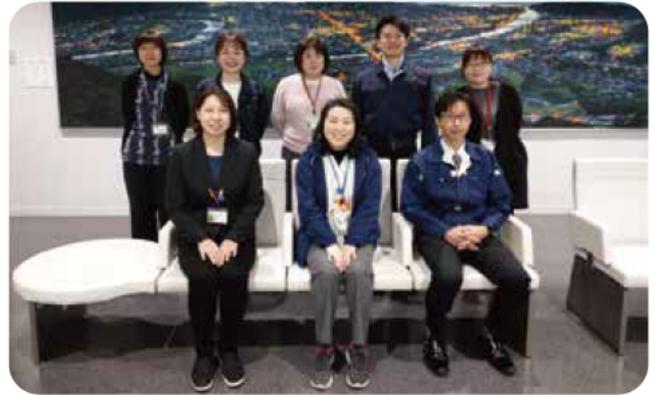
その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。

## 「住民が安心して暮らしていけるように」

萩市 福祉部 福祉支援課  
主任 大賀 陽世

### プロフィール

血液型：A型 / 出身地：島根県  
趣味：海外旅行（今は行けないからガイドブック眺めています）  
マイブーム：お取り寄せで美味しいものを食べる  
元気の源：仲間とおしゃべり  
今年挑戦したいこと：中国語をかじる



萩市 福祉部 福祉支援課の職員さんです。  
前列中央が大賀陽世さんです。

### 保健師になるきっかけ

小学生の頃から、看護師の母の頑張っている後姿を見て、看護の道に進みたいと思い、この道を選びました。

### 保健師活動に影響した海外旅行の経験

発展途上国に行った時に、現地の人がこの国の平均寿命は60歳と話していたことや、公立の子ども病院の外でたくさんの母親が子どもを抱いて待っている場面などに触れ、日本との医療・公衆衛生の差に衝撃を受け、公衆衛生の大事さを痛感しました。

また、海外で様々な人や文化と触れることが、障がいや生活様式など様々な人のことを素直に受け入れられることにつながったように感じます。

また、日本のように安全な国ばかりではありません。怖い思いをしたこともあり、人間いつ死ぬかわからないから、やりたいことはやっておこうと思うようになりました。

### 保健師活動の魅力、やりがい

認知症に関する地域づくりを展開する際、最初は地域住民から「何でやらないといけないの?」と理解が得られず大変なこともありましたが、一生懸命伝え、話し合いを繰り返していくうちに次第に助けてくれる人が増えました。お互いに顔が見え、支え合えるネットワークが構築されると、前から知っている人も知らない人も一緒に活動してくれるようになり、一気に人・町が動き出す感覚を味わうことができました。その経験から「連携」と

いうものがさらに好きになったように感じます。

心が折れそうになる時もありますが、住民が安心して暮らせる地域を目指し、勉強、連携していくことはとても面白くやりがいがあります。

### 保健師として大切にしていること

誰よりも自分が楽しむこと、そして自分を大事にすることが大事だと思います。

あとは、何でも挑戦しようと思っています。もしもできなくても、誰かが助けてくれると信じているし、「一緒にやろう」と誘ってくれるということは自分を信頼して声をかけてくれているということなので、「いいですよ!」と引き受けるようにしています。職員組合の役員もやらせてもらい上乗せで忙しい日々でしたが、その経験から全国の人とつながったり、出会いが広がり、様々な情報を得ることができ仕事にも役立っています。

### これから目指す保健師像

新しい分野に飛び込むと知らないことが多く大変ですが、色々なことを吸収してもっともっと成長していきたいと思っています。

### 後輩へのメッセージ

色々失敗したり、できないことがあっても誰かがあなたを助けてくれます。自信をもって挑戦してみてください。

## 職場の仲間からひとこと

### ■ 職場の上司より

いい仕事はいい食事から!

食べることが大好きで、しっかり者の迷いなき保健師です。市役所ナンバー1の食いしん坊が今日もみんなを元気にします!

### ■ 佐々木さんより

大賀さんに関わった住民や関係団体の人は、気が付いたら、認知症カフェやRUN伴(ラントモ)など色んなことに巻き込まれています。それをみんなは楽しそうにやっているのが印象的です。でも、そのために、大賀さんがなんだかんだ言いながら、楽しそうにコツコツ準備に力を入れているのをみんな知っています。きっと、大賀さんの元気は、「住民の笑顔」なんだろうな…。と思います。そんな大賀さんを応援しながら、私も一緒に楽しみたいです。

## インタビューを終えて

年度末の大変お忙しい時期に、インタビューを引き受けていただき大変感謝しています。大賀さんの人とつながる力や物怖じせず取り組む力のルーツに触れることができたように感じます。根幹にある、その人らしく安心して暮らせる地域にしたという思いが、ブレない保健師活動につながっているのだと感じました。

## 令和3年度事業のお知らせ

状況によっては事業が中止となることがございますので、山口県ナースセンターのホームページまたは下記ナースセンターの電話番号におかけいただき、ご確認ください。

また、山口県ナースセンターでは、お電話によるご相談にも応じています。相談会場や、ナースセンターへの来所が難しい方は、電話相談をご利用ください。

### ■ ハローワーク出張就業相談 相談時間 / 10:00 ~ 16:00 (ハローワーク防府のみ 10:00 ~ 12:00)

会場	ハローワーク岩国	ハローワーク徳山	ハローワーク防府	ハローワーク山口	ハローワーク宇部	ハローワーク萩	ハローワーク下関
5月	28	19	19	6	18	12	11
6月	25	16	16	3	15	9	8
7月	16	21	21	1	20	14	13
8月	27	18	18	5	17	11	10
9月	24	15	15	2	21	8	14
10月	22	20	20	7	19	13	12
11月	26	17	17	4	16	10	9
12月	24	15	15	2	21	8	14
1月	28	19	19	6	18	12	11
2月	25	16	16	3	15	9	8
3月	18	16	16	3	15	9	8

### ■ サテライト相談 相談時間 / 9:00 ~ 16:00 電話予約制

※周南地域・下関地域は、会場を変更しておりますので、ご注意ください。

地域	サテライト岩国	サテライト柳井	サテライト周南	サテライト山口	サテライト宇部	サテライト長門	サテライト下関
会場	岩国健康福祉センター	山口県柳井総合庁舎	スターピアくだまつ	山口公共職業安定所	宇部公共職業安定所	長門市地域医療連携支援センター	山口県下関総合庁舎
5月	25		11	19	12	14	20
6月		22	8	16	9	11	17
7月	27		13	21	14	9	15
8月		24	10	18	11	13	19
9月	28		14	15	8	10	16
10月		26	12	20	13	8	21
11月	16		9	17	10	12	18
12月		21	14	15	8	10	16
1月	25		11	19	12	14	20
2月		22	8	16	9	18	17
3月	22		8	16	9	11	17

### 演習器材の貸出について

3月から、上腕部筋肉内・皮下注射シミュレーター(装着型)「きんちゅうくん」の貸出しを始めました。注射する位置、深さが正しいかを測定し、判定ランプとブザーでお知らせします。

皮膚および骨格の感触は生体に近似しており、筋肉注射が必要なワクチン接種の演習に最適です。貸出方法は、ナースセンターホームページでご確認ください。



求人・求職のご相談は、山口県ナースセンター(無料職業紹介所)をご利用ください。

TEL:0835-24-5791 FAX:0835-28-9688 E-mail:yamaguchi@nurse-center.net

eナースセンター  
(無料職業紹介サイト)



とどけるん  
(看護師等の届出サイト)



# uniform INTRODUCTION

## ユニフォーム紹介

宇部リハビリテーション病院  
看護部長 西島 陽子

当院は、10年近くユニフォームの変更がなく、個人購入による着用も可能といたため統一感がありませんでした。空調設備が24時間稼働ではないため、厚い素材による不快感からボタンを外すなど、見た目も良くない状況でした。介護療養病棟の一部を医療介護院へ転換するタイミングで、平成31年4月ユニフォームの刷新をしました。

低価格・速乾性・変色しないことと、着回せる利便さを考えて男女同じデザインを選択しました。職員の年齢は、20歳代から70歳代までと幅広いです。

認知症患者さんは、明るい色を好まれるとの理由から、暖色のコーラルピンクを選択しました。看護職のパンツの色は病棟スタッフは白、介護医療院スタッフはネイビーです。(写真のブルーのユニフォームは介護職です)

胸ポケットと上着の左右ポケットは、2重構造となっており収納性に優れています。また、PHSやハサミ等の落下防止のための腋ループもあります。帯電防止・吸汗・速乾性のおかげで肌にまとわりつかず、快適な着心地です。伸縮性がないため、着脱しづらいという声があるものの、スタッフからは概ね好評です。



### あなたの施設のユニフォーム紹介してみませんか？

うちのユニフォームのここがかっこいい！ この部分が便利！  
など教えてください。

掲載内容：コメント・写真1～3枚

応募先・問合せ先： 山口県看護協会 総務課  
e-mail：yamakan1@chive.ocn.ne.jp  
TEL：0835-24-5790



### 職員紹介 New staff member

令和3年4月より勤務しております新しい職員です。よろしくお願いいたします。



事務局長  
河田 和彦



教育課長補佐  
瀬川 裕子



事業課  
河嶋 裕子



ナースセンター  
杉 文子

# 応援のご寄付をいただきました。

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中で、看護職員への応援のご寄付をいただきました。皆様のご厚志に心よりお礼申し上げます。

- 東洋羽毛株式会社 様
- 真田 一政 様 (応援横断幕のご寄贈)
- 公益財団法人地域創造基金さなぶり 様

## 支部Information

支部名	月日(曜日)	時間	行事名等	場所	申込み先・問合せ先
岩 国	7月10日(土)	13:30~14:30	支部集会	岩国市民文化会館 小ホール	早瀬 敏子 (国立病院機構岩国医療センター) TEL:0827-34-1000
周 南	7月3日(土)	10:00~11:00	支部集会	新南陽ふれあいセンター (予定)	久保しのぶ (周南リハビリテーション病院) TEL:0834-83-3300
防 府	7月3日(土)	10:00~11:00 11:00~12:00	支部集会 親睦会(ヨガでリフレッシュ)	看護研修会館	石田 美江 (山口県立総合医療センター) TEL:0834-83-3300
宇 部	7月3日(土)	8:30~	支部集会	山口大学医学部附属病院 オーデトリウム	高見 由美子 (宇部興産中央病院) TEL:0836-51-9910
	7月3日(土)	10:30~	教育・職能合同研修会 テーマ「コロナ禍における看護職の メンタルヘルス」	山口大学医学部附属病院 オーデトリウム	坪井 陽子 山口大学医学部附属病院 TEL:0836-22-2111
	10月(予定)		教育研修 アドバンス・ケア・プランニング	未定	

## 問合せ先

係	TEL	FAX	e-mail	
総務課(代表)	0835-24-5790	0835-24-1230	yamakan1@chive.ocn.ne.jp	
教育課	教育研修係		0835-24-5853	k-kensyu@y-kango.or.jp
	認定教育係		0835-28-8123	nintei@y-kango.or.jp
事業課	0835-28-7512		jigyoku@y-kango.or.jp	
山口県ナースセンター	0835-24-5791	0835-28-9688	yamaguchi@nurse-center.net nurse-center@y-kango.or.jp	
相談支援センター	0835-24-3593		sodan@y-kango.or.jp	
山口県がん総合相談窓口	0835-28-7090		gsodan@y-kango.or.jp	

## 開館日・閉館日

- 山口県看護協会 事務局  
開館日: 火曜日から土曜日 / 8:30~17:00 (図書室 / 9:00~16:30)  
閉館日: 日曜日・月曜日・祝祭日  
(但し、月曜日が祝祭日に重なった場合は翌日も閉館日になります)
- 山口県ナースセンター  
開館日: 月曜日から金曜日 / 8:30~17:00  
閉館日: 土曜日・日曜日・祝祭日
- 相談支援センター  
木曜日: 9:00~16:00

## 編集後記

今回から始まりましたユニフォーム紹介はいかがでしたか?  
次年度の委員さんが、これからも皆様に楽しんでいただける「きらめき」をお届けしてくださると思います。検討中の企画「自慢のペット」を楽しみにしています!  
試行錯誤の2年間でしたが、皆様のご協力のおかげで無事任期を終えることができました。ありがとうございました。  
(深水・柴田・住本)